

■ 第 9 回あきたスマートシティ協議会 議事録

日 時	平成 2 5 年 3 月 1 9 日 (火) 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	
場 所	秋田市にぎわい交流館 A U 第 1、第 2 研修室	
参加者 (敬称略)	検討会 委員	<p>NPO 法人科学協力学際センター：川添理事長（委員長）</p> <p>秋田大学教育文化学部地域科学課程：西川准教授（副委員長）</p> <p>東北大学大学院環境科学研究科：古川准教授</p> <p>秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科：板垣准教授</p> <p>東北電力株式会社 秋田営業所：菅原副調査役</p> <p>東部ガス株式会社 秋田支社：佐藤副支社長（代理：八百屋氏）</p> <p>秋田商工会議所：岩本専務理事</p> <p>一般社団法人あきた地球環境会議：福岡事務局長</p> <p>秋田県産業労働部資源エネルギー産業課：三浦課長（代理：楨沢氏）</p> <p>秋田県生活環境部温暖化対策課：石郷岡課長（代理：永田氏）</p> <p>日本 IBM 株式会社：加茂 Smarter City 推進部長</p> <p>ジョンソンコントロールズ インク：三田村ディレクター（代理：小玉氏）</p> <p>アイ・エム・サービス株式会社：大山取締役統括部長</p> <p>コクヨアニチャー株式会社企画本部新規事業開発室：飯沼課長</p> <p>秋田市環境部：佐藤部長（欠席）</p> <p>株式会社日本総合研究所：小長井 マネージャー</p> <p>計 1 5 名（順不同）</p>
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	資料 1 資料 2 資料 3 資料 4 資料 5 資料 6 資料 7 資料 8 補足資料	<p>あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会 委員名簿</p> <p>情報統合管理基盤WG 協議会報告資料</p> <p>地域 E S C O ・ L E E D W G 協議会報告資料</p> <p>地産エネルギーWG 協議会報告資料</p> <p>電子地域通貨・低炭素モビリティWG 協議会報告資料</p> <p>環境リーダー・ビジョンWG 協議会報告資料</p> <p>来年度協議会運営方針（案）</p> <p>第 8 回協議会議事録</p> <p>あきたスマートシティ地域 E S C O 事業の実施について 9 0 歳ヒアリングより描く秋田市の未来—自然とともに生き 続ける町— 循環型社会形成へ向けた新たなマイバッグ使用 推進のための調査報告書（概要版） 秋田市サイクルガイドマップ</p>

1 WG活動報告および次年度活動方針

各WGより資料の説明後、討議を行った。主な議論は以下のとおり。

(1) 情報統合管理基盤WG

BEMSの導入が進んだ次の段階は、集中管理を行いたいと考えている。

(2) 地域ESCO・LEED WGについて

エネルギー削減に関する効果のPRをより積極的に行う必要がある。

(3) 地産エネルギーWG

秋田市内のペレット需要は少ないため、需要の掘り起こし、他機関への協力要請などを行っていく。

(4) 環境リーダー・ビジョンWG

90歳ヒアリングの成果であるイラストについては、広く市民の目に触れるよう、掲示やHP掲載を行っていく。

また、パークレット（小規模休憩スペース）整備に関しては、一般社団法人あきた地球環境会議と連携して検討していく。

2 来年度協議会運営方針

協議会はWG報告の場から長期的な方向性の検討を行う場としていく。

3 その他

国の資金を獲得する取組みを行っていく。

4 次回協議会スケジュール

次回第10回協議会は5月後半から6月前半に開催を予定。

以上